

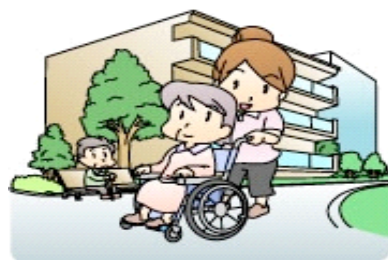
「失敗しない排泄ケア」

～軽失禁のしくみについて～

平成28年2月吉日
甲府市介護保険をよくする会
代表 保坂 勢津子

日常の生活動作能力（ADL）が、生まれてから成長するにつれ発達し、加齢によって徐々に衰えるというのは自然な流れです、そうはいつても、失禁するようになった自分を認めたくない心理は、だれにでもあるものです、「失禁を人に知られたくない」「おむつをするのはつらい」など、そうした高齢者の本音があります、また介護者は言葉のかけ方に配慮したり自尊心を尊重したケアができることや、適切な用具を選ぶことが、より快適なケアにつながることもあります、心理的なケアに加えて、技術的なケアを合わせて考慮する事が大事です、今回は、自立した日常生活を送る上で、排泄の支援などにより生活全般の支援と、尊厳のある生活を過ごして頂くことを目的に、求められる排泄ケアについてお話して頂きます。

- 日 時 平成28年3月19日（土）
- 受 付 13：30～
- 開 始 14：00～（終了は16：00を予定）
- 講 師 竹ノ入 隆 氏（白十字株式会社 甲信営業所 第1課係長）
- 場 所 甲府市西公民館（甲府市長松寺町12-30）
- 主 催 非営利団体 甲府市介護保険をよくする会



ホームページ <http://kofu-yokusurukai.com/>

電話・FAX 055-222-1388

※ 裏面の地図を参照して下さい。